

2020 年度実施概要

学校名

大牟田市立駛馬小学校

採択活動名

有明海や三池港を生かした大牟田海洋教育プロジェクト

実施単元

単元名	学年	教科
1. 有明海と諏訪川の生き物を調べよう	3 年	総合的な学習の時間
2. クリーンアップ諏訪川・有明海	4 年	総合的な学習の時間
3. 有明海の歴史と産業を調べよう	5 年	総合的な学習の時間
4. 海と川との共存発信プロジェクト	6 年	総合的な学習の時間

取り組みの概要

中学年において、身近な諏訪川や有明海干潟の生き物観察、また、川の水質調査や清掃活動等の体験を通して、海や川に親しみ、海や川を知る活動を行った。そして、高学年においては、有明海の歴史と産業について調べ、さらに、校区にある明治日本の近代化を支えた世界文化遺産「宮原坑」と海底資源「石炭」とのつながりに目を向け、海との共存や海からの恩恵について多くの人に発信するために、自分たちにできることを考え行動した。

3年：海に親しむことを目的とし、有明海に注ぐ諏訪川や有明海干潟の生き物を探し、その生き物の名前や特徴、生息域等を調べた。探索活動や調査活動をもとに、諏訪川や有明海の様々な生き物のことについて、生き物新聞や図鑑を作成し、校内や地域に発信した。



4年：諏訪川でのカヌー体験を振り返り、水面や護岸の様子で気がついたことを出し合い、諏訪川の中流域にある浮くゴミと浮かないゴミについて量と種類を調べた。諏訪川流域にあるゴミの現状から、諏訪川を守る取組について多くの人に発信することの必要性を見だし、ポスターやパンフレットを作成し、校内や地域に発信した。



5年：室町時代、江戸時代、明治時代の石炭採掘と運搬の歴史について調べ、「宮原坑」で掘り出された石炭は、石炭採掘の場所や方法、運ばれ方が年代によって、違うことが分かった。三池港の開港により、大量運搬が可能になり、大牟田の産業の発展に寄与したことを多くの人に伝えるために、宮原坑ロードを作って校内に掲示したり、新聞を作成して公民館に掲示したりして、発信した。



6年：有明海と宮原坑のつながりについてさらに学習を進め、有明海海底の石炭は、地中で4000万年の長い時間をかけてできあがったことを知った。『石炭を掘り出してから100年間のつながり』だけでなく『石炭が海の恵みであったという4000万年前からのつながり』を多くの人に伝えるために、子どもボランティアガイドの解説の中に調べてわかった内容を付け加えたり、パンフレットを作成して配布したりするなど、多くの人に発信した。